

江田島市地域公共交通総合連携計画骨子（案）について

1. 計画区域

江田島市全域

2. 江田島市地域公共交通総合連携計画に関する基本方針

えたしまを支える、持続可能な公共交通をつくり、守り、育てます。

近年の人口減少やマイカー利用の増加等による利用者の減少等に伴い、公共交通を取り巻く環境はより厳しさを増しています。しかし、船やバスをはじめとした公共交通は、江田島市にとって欠かすことの出来ない社会基盤です。江田島市の今後の持続的発展のため、公共交通を「持続可能なかたち」に再構築し、それを適正な役割分担のもとで守り、育てることとします。

3. 江田島市地域公共交通総合連携計画の目標

○便利で効率的な公共交通体系の構築

公共交通を取り巻く環境が厳しさを増す中で、公共交通の利便性を出来るだけ損なわず、「持続可能なかたち」に再構築し、効果的・効率的なサービスとして提供し続けることに努めます。

評価指標・・・サービス満足度、事業収支等

○住民の日常生活を支える最低限の移動手手段の確保

住民の日常生活における最低限の活動を可能にするための移動手手段の確保に向け、住民とともに考えるとともに、地域における独自の取組を支援します。

評価指標・・・不便地域の減少箇所数、活動可能性の向上箇所数等

○誰もが利用しやすい環境づくり

マイカー利用等による「公共交通離れ」に歯止めをかけるべく、誰もが利用しやすい公共交通の実現に向け、情報提供の充実や施設整備等、利用環境の向上に努めます。

評価指標・・・サービス満足度等

○観光振興に資する公共交通サービスの実現

公共交通サービスの充実により、市内外の観光資源を有機的に結びつけることでその魅力を向上させ、交流人口の増加を図ります。

評価指標・・・観光施設来訪者数等

4. 計画に位置づける事業の概要及び想定する実施主体

- ①航路の合理化・効率化実証運航（主体；各事業者、江田島市）
- ②代替関係にある航路の定期券、回数券の共通化（主体；各事業者）
- ③航路の夜間便の実証運航（主体；各事業者、江田島市）
- ④住民等に対する運賃割引制度の導入（主体；江田島市、各事業者）
- ⑤公共交通空白不便地域への移動手段導入及び実証運行（主体；江田島市）
- ⑥端末交通としてのシニアカーのパーク&ライド駐車場等の整備（主体；江田島市）
- ⑦バス路線の系統整理とターミナル機能の強化（主体；江田島バス、江田島市）
- ⑧交通結節点や主要バス停における施設整備（主体；江田島バス、江田島市）
- ⑨ICカードの導入（主体；各事業者）
- ⑩航路、バス路線の共通時刻表の作成（主体；江田島市、各事業者）
- ⑪ホームページでの情報提供の一元化（主体；江田島市、各事業者）
- ⑫近隣観光施設とタイアップした割引制度の設定（主体；江田島市、事業者）
- ⑬自転車観光の促進（自転車周遊チケットの設定、サイクリングマップの作成、レンタサイクルの実施、駐輪場整備 等）（主体；江田島市、各事業者）
- ⑭広域観光パッケージ商品の創出（例；坂の上の雲）（主体；江田島市、事業者）

5. 計画期間

平成22年度～平成26年度（5年間）